



交通バリアフリーニュース

四国における交通バリアフリーの現状

四国における旅客施設については、平成23年3月に改正された基本方針により、平成32年度末にバリアフリー化の実施を目標とされた1日当たり平均的な利用者数が3,000人以上の旅客施設を含め、事業者、国、地方自治体との連携等によりバリアフリー化が進んできています。

また、車両等についても、乗合バス車両や旅客船を中心にバリアフリー化が進んできています。

四国における交通バリアフリー化の進捗状況

利用者数3,000人以上の旅客施設 (平成25年3月31日現在)

☆鉄軌道駅のバリアフリー化状況

	事業者名	駅名	段差への対応状況	視覚障害者誘導用ブロックの設置状況	障害者対応型便所の設置状況	視覚障害者転落防止設備の設置状況
鉄道	四国旅客鉄道(株)	高松駅	○	○	○	○
		坂出駅	○	○	○	○
		丸亀駅	○	○	○	○
		宇多津駅	×	×	○	×
		多度津駅	×	○	×	○
		観音寺駅	×	×	×	×
		徳島駅	○	○	○	○
		阿南駅	○	○	○	○
		松山駅	○	○	○	○
		今治駅	○	○	○	○
		新居浜駅	×	○	×	○
		伊予西条駅	×	×	×	×
		高知駅	○	○	○	○
		後免駅	○	○	×	○
軌道	高松琴平電気鉄道(株)	高松築港駅	○	○	○	○
		瓦町駅	○	○	○	○
		片原町駅	○	○	○	○
		太田駅	○	○	×	○
伊予鉄道(株)	伊予鉄道(株)	松山市駅	○	○	○	○
		古町駅	○	○	○	○
伊予鉄道(株)	伊予鉄道(株)	松山市駅前電停	○	○		○
		大街道電停	○	○		○
		JR松山駅前電停	×	○		○
	土佐電気鉄道(株)	はりまや橋電停	×	×		×
主要駅(24駅)における項目別適合駅数			17	20	14	20
全駅(491駅)における項目別適合駅数			125	201	25	233

※主要駅とは1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の駅で、四国では上表の24駅が該当する。

※ 駅名 は、1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の駅を示す。

※表中の「○」は基準適合、「×」は基準不適合を示す。

※伊予鉄道(株)古町駅には、軌道の路線も乗り入れている。

☆旅客船ターミナルのバリアフリー化状況

1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上のターミナル

施設管理者	施設名	段差への対応	視覚障害者誘導用ブロック	障害者対応トイレ
香川県	高松港旅客ターミナルビル	○	○	×

ターミナル総数	段差への対応	視覚障害者誘導用ブロック	障害者対応トイレ
93	43	11	8

※ 1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の1ターミナルを含む。

☆バスターミナルのバリアフリー化状況

ターミナル総数	段差への対応	視覚障害者誘導用ブロック	障害者対応トイレ
2	2	2	—

※ 四国のバスターミナルは、1日当たりの平均的な利用者数が1,000人未満の小規模な施設しかない。

車両等(平成25年3月31日現在)

☆鉄道車両のバリアフリー化状況

区分	総車両数	基準適合両数	基準適合率
鉄道車両	585	95	16.2%
軌道車両	109	11	10.1%
合計	694	106	15.3%

☆乗合バスのバリアフリー化状況

総車両数	区分	基準適合両数	基準適合率
1,503	低床バス※	435	28.9%
	ノンステップバス	330	22.0%

※ノンステップバスを含む

☆旅客船のバリアフリー化状況

総隻数	基準適合隻数	基準適合率
107	29	27.1%

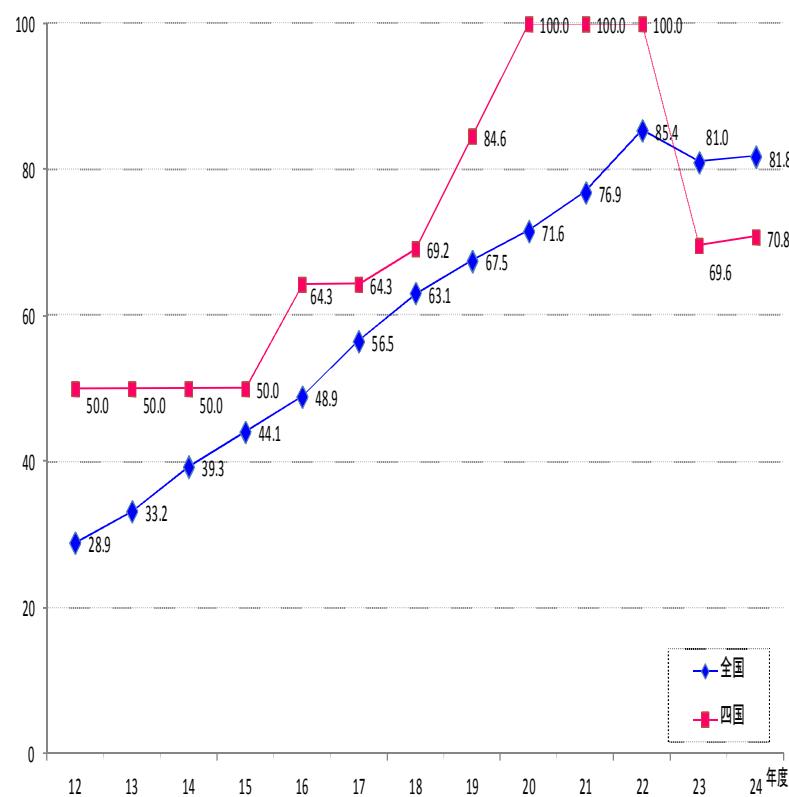
☆福祉タクシーの導入状況

基準適合両数
751

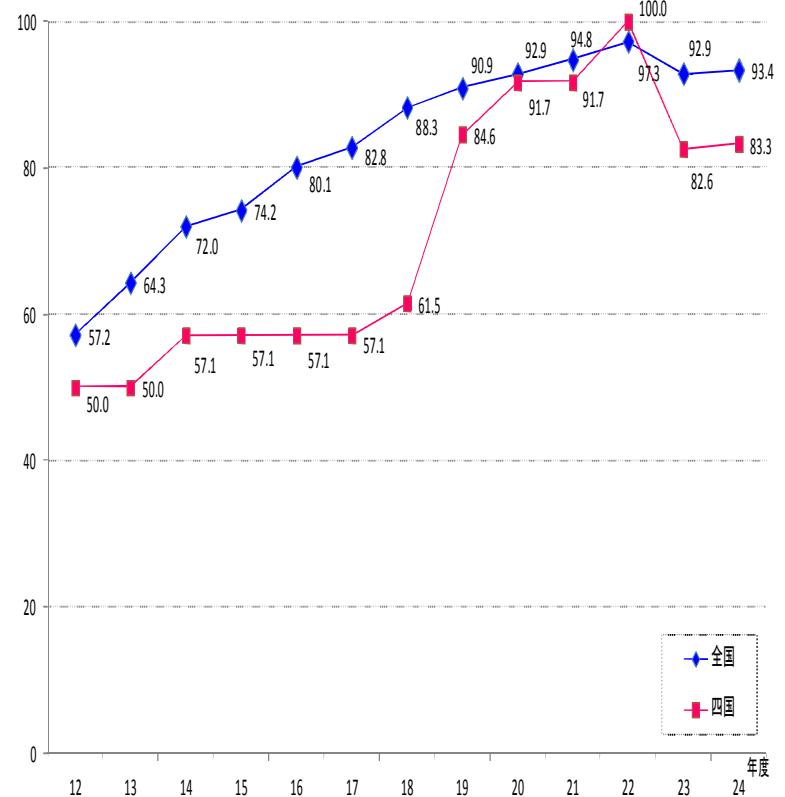
※ バリアフリー新法の施行により、平成19年度から導入された基準適合車両数のみの集計である。

旅客施設のバリアフリー化の推移

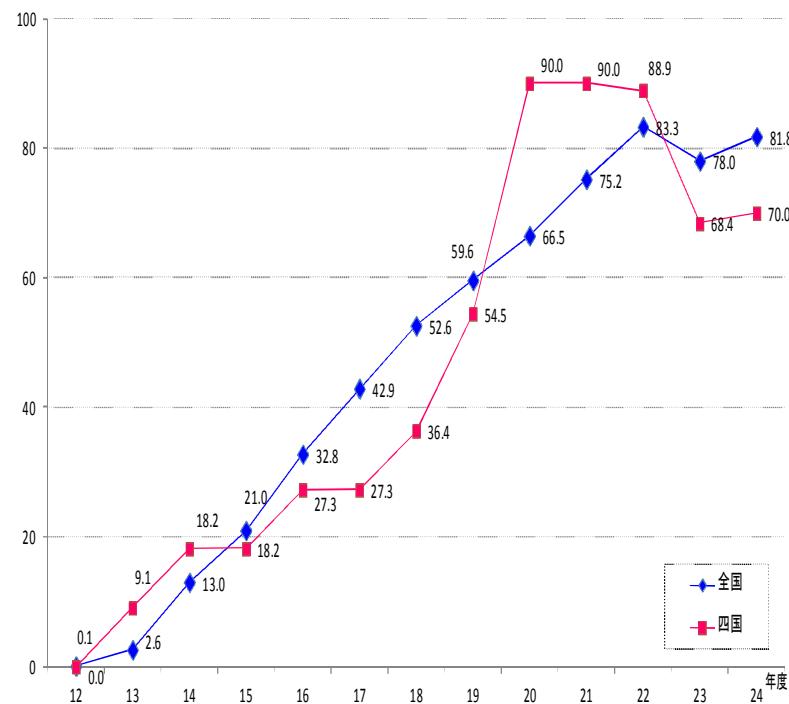
段差解消の推移



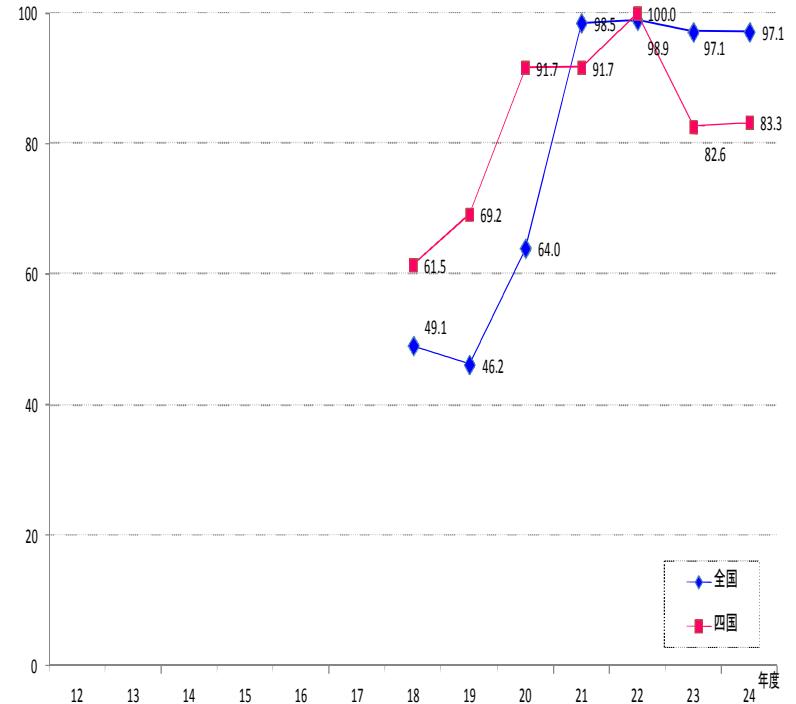
視覚障害者誘導用ブロックの整備の推移



障害者対応型トイレの設置の推移



転落防止設備の整備の推移

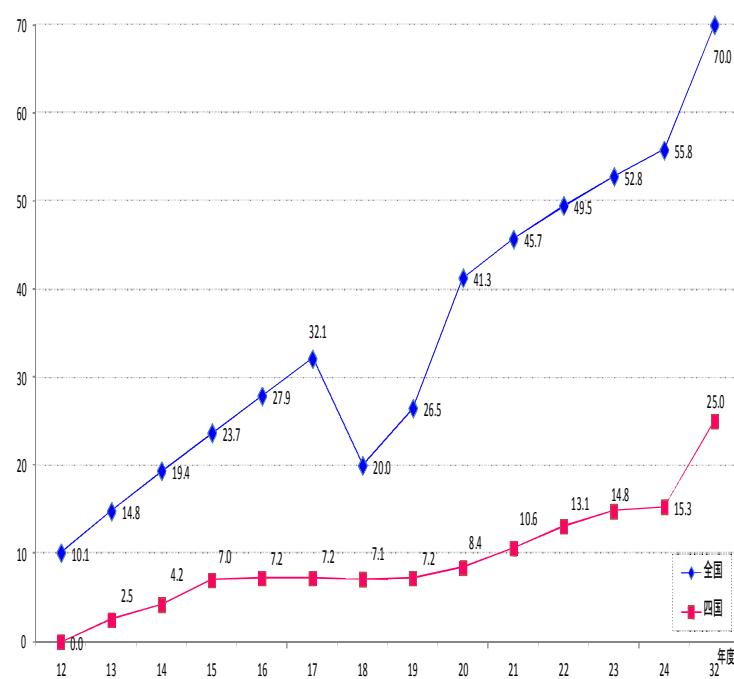


※平成22年度までは1日当たりの平均的な利用者数が5,000人以上の旅客施設が対象／平成23年度より1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の旅客施設が対象

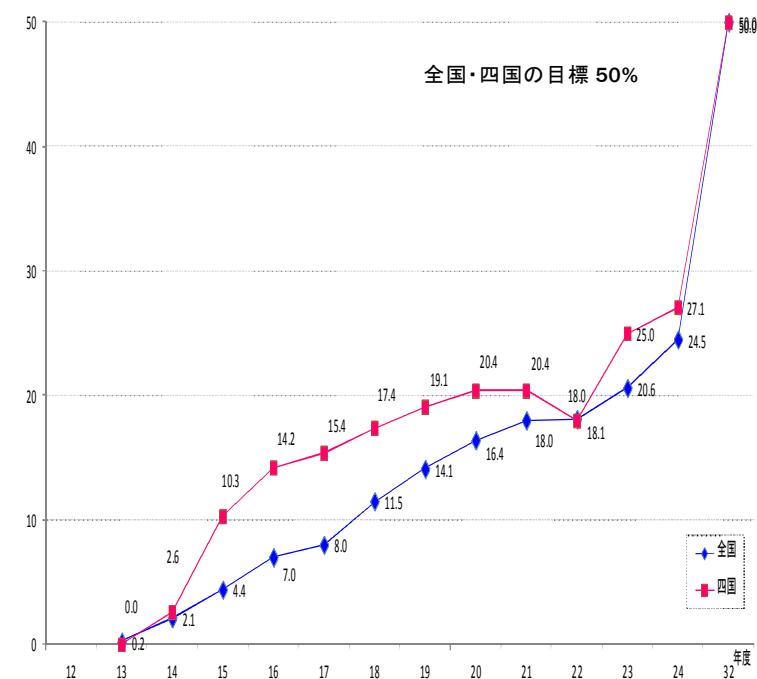
全国・四国の目標は平成32年度迄に原則100%／転落防止設備については鉄軌道駅を対象に平成18年度より調査

車両等のバリアフリー化の推移

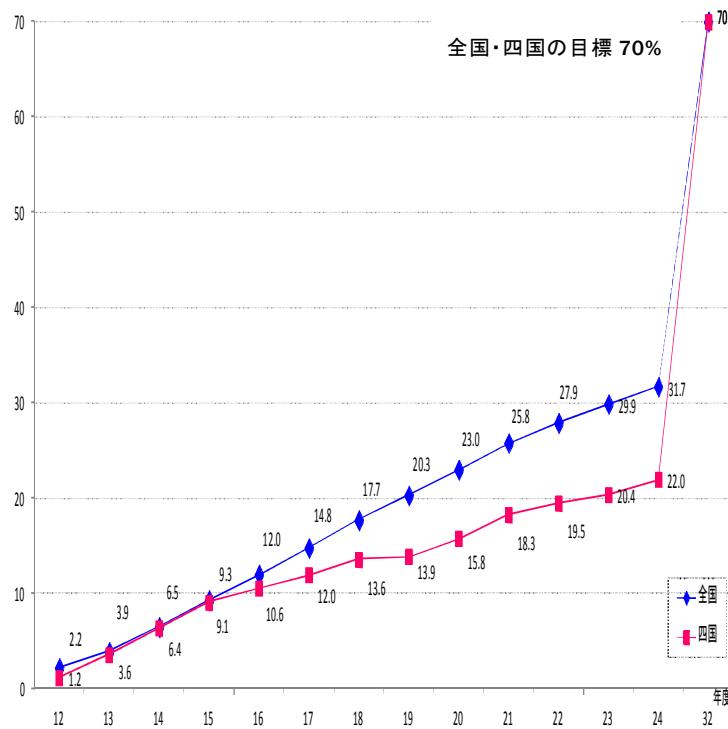
鉄軌道車両のバリアフリー化の推移



船舶のバリアフリー化の推移



ノンステップバスのバリアフリー化の推移



バリアフリー教室・バスの乗り方教室を開催

西条市立楠河小学校

平成25年10月11日(金)、四国運輸局、愛媛運輸支局並びに一般社団法人愛媛県バス協会は、楠河小学校において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には、楠河小学校3年生16名と4年生18名が参加。バスの乗り方教室では、瀬戸内運輸株式会社の協力を得て、低床バスを小学校隣接の公民館に持ち込み、整理券の取り方や料金表の見方など基本的なバスの乗り方について学習しました。

また、バリアフリーに対応した低床バスの特徴を学習するとともに、車いす利用者のバス乗降介助の実演体験やバス内部における固定方法を見学しました。

バリアフリー教室では、社会福祉法人西条市社会福祉協議会職員の指導のもと、車いす利用者疑似・介助と視覚障害者疑似・介助の二つの体験を行いました。

車いす体験では利用する人と介助する人の大変さを体験し、視覚障害者疑似体験では目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して移動する困難さを体験しました。

参加者は、講師の話を聞き実際に疑似・介助体験することにより、相手の立場を理解し協力することの大切さを学びました。



車いす利用時のバス乗降介助実演



視覚障害者の疑似・介助体験



車いす利用者の疑似・介助体験



質問に元気に答える児童のみなさん

高知市立神田小学校

平成25年10月17日(木)、四国運輸局と高知運輸支局は、神田小学校において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には、神田小学校3年生89名が参加。バスの乗り方教室では、高知県交通株式会社の協力を得て、ノンステップバス2台を持ち込み、整理券の取り方や料金表の見方など基本的なバスの乗り方に加え、バスの内輪差についても学習しました。

また、バリアフリーに対応したノンステップバスの特徴を学習するとともに、車いす利用者のバス乗降介助の実演体験やバス内部における固定方法を見学しました。

バリアフリー教室では、社会福祉法人高知市社会福祉協議会職員と視覚障害者講師の指導のもと、視覚障害者疑似・介助の体験を行いました。この体験を通して、目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して移動する困難さを体験しました。

参加者は、講師の話を聞き実際に疑似・介助体験することにより、相手の立場を理解し協力することの大切さを学びました。



介助の注意点を学ぶ児童のみなさん



アイマスクを使用した疑似・介助体験



車いす利用時のバス乗降介助実演



バスの内輪差も学習しました

丸亀市立城辰小学校

平成25年10月23日(水)、四国運輸局と香川運輸支局は、城辰小学校において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には、城辰小学校5年生77名が参加。バスの乗り方教室では、琴参バス株式会社の協力を得て、ノンステップバスを校内に持ち込み、整理券の取り方や料金表の見方など基本的なバスの乗り方について学習しました。

また、バリアフリーに対応したノンステップバスの特徴を学習するとともに、車いす利用者のバス乗降介助の実演体験やバス内部における固定方法を見学しました。

バリアフリー教室では、車いす利用者講師と社会福祉法人丸亀市社会福祉協議会職員の指導のもと、車いす利用者疑似・介助と視覚障害者疑似・介助の二つの体験を行いました。

車いす体験では利用する人と介助する人の大変さを体験し、視覚障害者疑似体験では目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して移動する困難さを体験しました。

参加者は、講師の話を聞き実際に疑似・介助体験することにより、相手の立場を理解し協力することの大切さを学びました。



車いす利用時のバス乗降介助実演



車いす利用者の疑似・介助体験



バスの乗り方を学ぶ児童のみなさん



視覚障害者の疑似・介助体験

徳島市立上八万小学校

平成25年10月30日(水)、四国運輸局、徳島運輸支局並びに徳島市交通局は、上八万小学校において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

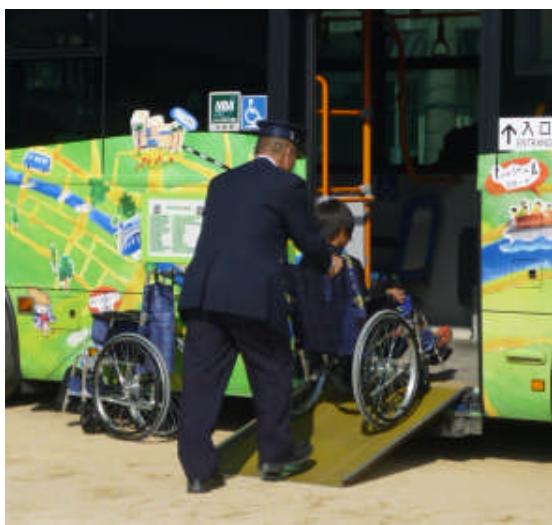
教室には、上八万小学校4年生50名が参加。バスの乗り方教室では、徳島市交通局のノンステップバスを校内に持ち込み、整理券の取り方や料金表の見方など基本的なバスの乗り方について学習しました。また、バリアフリーに対応したノンステップバスの特徴を学習するとともに、車いす利用者のバス乗降介助の実演体験やバス内部における固定方法を見学しました。

(当日は、徳島市のイメージキャラクター「トクシィ」ちゃんが応援に駆けつけてくれました)

バリアフリー教室では、徳島県立障害者交流プラザ・視聴覚障害者支援センター、社会福祉法人青香福祉会、徳島市社会福祉協議会の講師の指導のもと、車いす利用者と視覚障害者の疑似・介助体験を行いました。

車いす体験では、利用する人と介助する人の大変さを体験し、視覚障害者体験では、目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して移動する困難さを体験しました。

参加者は、講師の話を聞き実際に疑似・介助体験することにより、相手の立場を理解し協力することの大切さを学びました。



車いす利用時のバス乗降介助実演



車いす利用者の疑似・介助体験



視覚障害者をバス停まで案内



教室終了後に修了証を交付

消費者行政インタビュー

四国運輸局では、消費者ニーズや消費者行政上の課題を把握し、その結果を行政に役立てていくことを目的として公共交通機関の利用者等を対象にインタビューを行っています。

今回は、アンパンマンミュージアムが沿線にある高知県の「JR四国バス 大栃線」の利用者等に伺いましたお話を伝えします。



ジェイアール四国バス株式会社は、旧国鉄時代から四国各地にて路線バスと貸切バスの運行、昭和63年の瀬戸大橋開通を機に本州方面への高速バスの運行を行っています。

このうち、路線バスについては、路線の廃止や縮小が続き、現在は大栃線と久万高原線を運行するのみとなりました。

今回は高知県香美市の土佐山田駅と大栃の間を運行している大栃線の沿線でアンパンマンに関する話題も含めて、バスに乗られているお客さまや運転手さん、地域の方などにお話しを伺いました。



大栃線は昭和10年に運行を開始、かつては香美市内を網目のように走る路線のひとつでした。平成12年10月のアンパンマン列車の開通に合わせてバス停の名称を大宮からアンパンマンミュージアム前と名称変更してキャラクターのシールを貼り付けたバスの運行が始まりました。平成17年10月に全車両をアンパンマンのキャラクターのラッピングバスに、平成25年3月に新しい「アンパンマン号」が、そして6月からは「ばいきんまん号」と「ドキンちゃん号」が登場して子どもたちの人気を集めています。土佐山田駅前のインフォメーションセンターでお聞きしたところ、四国内や京阪神をはじめ日本全国から、また、台湾などアジア各国や欧米から多くの方においでいただいているとのことでした。インフォメーションセンターには、やなせ先生からいただいた「からくり時計」がありました。この時計はアンパンマンやカレーパンマン等の丸くてかわいいキャラクターがクルクル回る仕掛けに加え、土佐山田駅に特急列車が停車する間にメロディが流れる仕掛けもあるそうで、何度も来られるかわいいファンも少な



くないそうです。

また、やなせ先生が開設時に来られた時に自筆で「なんのために生まれて なにをして・・・」が壁に書かれており、大人の方にもご覧になっていただきたいと思います。

土佐山田駅前には、大きな屋根が付いたバス乗り場があります。出発が近くなるにつれ、おばあさん、スーツを着た男性、中・高校生、小さな子供さんを連れたお母さんなど、ひと目で目的が違うことが分かるお客様が次々乗り込んでいます。おばあさんから「運転手さん、回数券ちょうどいい」運転手「はい、わかりました」、別のおばさんから「こっちもください」「はい、少しお待ちください」と親しみのこもったやりとりが耳に飛び込んでいます。出発間際には平日の12時頃にもかかわらず高校生がお年寄りに座席を譲るさわやかな姿が目に飛び込んでいます。これこそ高知の『アンパンマン乗合バス』と私たちのインタビューが続きます。



おばあさんからは「買物と病院に行くのに何回も使っている、(ノンステップでなく)階段があっても大丈夫」。50代の女性は「1時間に1本あり便利だから通勤と買い物にいつも使っている、段差の少ないバスは乗りやすい」。スーツの男性は岡山から来られた大学の先生で、「高知工科大学に行くために初めて乗った。ラッピングはよくみかけるが内装もアンパンマンには驚いた」。高校生は「テスト中、いつもはもっと遅いから子どもに会うことは少ないが、アンパンマンに喜んでいるちいさな子どもはとてもかわいい、はしゃいでもOKです」。子供連れのお母さんは「兵庫県から家族で来た、パパは車でアンパンマンミュージアムに向かった。神戸にもあるが、ここは特別な場所で大人も癒される気がする」。また、帰りのバスでは別の子供連れの両親が「大阪から新幹線とアンパンマン列車を乗り継ぎ昨日着き、アンパンマンバスに乗りミュージアムに向かったが休館日で入れなかった。それでも2歳の子供は、2日連続のアンパンマンバスに“また来たい”と大喜びです」とのことでした。途中から乗ってこられるお客様もあり、賑やかな車内でした。



大樹線は、距離が20数キロメートルですが、窓から見える景色は40分とは思えないくらい目まぐるしく変わります。土佐山田駅周辺のスーパー・マーケットや小売店、病院、高校、行政機関が集まる市街地、そこから少し離れると高知工科大学、まんなかに緑に囲まれたアンパンマンミュージアム近くの美良布駅、終点の大樹駅からは山間を流れる物部川のダム湖と自然がいっぱいです。地域の生活に欠かせないアンパンマンバス、そのバス停の美良布駅と大樹駅は待合室です



が、地域の皆さんにより、いつもきれいに管理されており、バス会社の方が清掃することはないそうです。ちっちゃなアンパンマンファンには楽しみ、大人の皆さんには癒されて欲しいと思います。



大柄駅からは少し離れていますが、香美市営バスに乗り換えると「べふ峡温泉」もあります。

バス会社の方によりますと、いろいろなお客さまにいろいろな目的で利用いただいており、雨の日等は自転車やバイク通学の工科大学の学生さんらが利用してくれて乗降にも苦労するほど混雑してご迷惑をおかけすることもあるものの、平日の昼間はお客様が少なく混雑するのは珍しい。このため、採算面は厳しく、国・県・市から応援してもらって維持できているとのことでした。



最後にアンパンマンバスならではのエピソードをひとつだけ紹介させていただきます。大柄線は香美市内を運行しているバスですが、車庫は東京や大阪・神戸行きの高速バスと同じ高知市内にあります。普段は道路側にアンパンマンバス、長さも高さも大きな高速バスを奥側に止めていましたが、ある日、修理のために道路側に高速バスを止めてしまったために、アンパンマンバスが高速

バスの隣に隠れて見えなくなってしまいました。毎朝、幼稚園に向かう通園バスからアンパンマンバスを見るのを楽しみにしていた園児たちがガッカリしてしまったとの話を聞いてから、道路側に高速バス車両を置かないように気を付けているとのことでした。

通勤・通学、通院や買い物といった生活に欠かせない公共輸送機関として、四国の山間部や島しょ部などで急激に進む過疎化や少子高齢化といった問題を抱えながら、地域の方々はもちろんのこと、仕事や観光のために遠くからおいでいただいた方に、これからも「ジェイアールバスでよかった」といわれるよう社員の皆さんのが日々、安全で快適な運行に努められている、ジェイアール四国バスの高知支店長さんからお話を伺い、今回のインタビューを終えました。

《アンパンマンミュージアム》

アンパンマンミュージアムは、アンパンマンの作者である「やなせたかし先生」の故郷である高知県香美市に平成8年7月に開館しました。ミュージアムの屋上から出たり引っ込んだりしているアンパンマンは愛嬌たっぷりです。

10月13日に亡くなられたやなせ先生はこの町で眠りたいとの生前の希望をかなえられることになったとお聞きしました。全国にもアンパンマンミュージアムがございますが、先生が大好きだった山と緑に囲まれた高知のアンパンマンミュージアムにも機会がございましたら、是非お立ち寄りください。

関係者の皆様にお悔やみ申し上げますと共に、心よりやなせ先生のご冥福をお祈りします。



四国運輸局が開催していますバリアフリー教室・バスの乗り方教室は、自治体、社会福祉協議会、障害者の方、公共交通事業者等から、後援・協力をいただき開催しております。7月～10月に開催した教室は次のとおりです。

バリアフリー教室・バスの乗り方教室

(平成25年10月11日開催・西条市立楠河小学校)

共 催：一般社団法人愛媛県バス協会

後 援：愛媛県、西条市、西条市教育委員会

協 力：社会福祉法人西条市社会福祉協議会、瀬戸内運輸株式会社

(平成25年10月17日開催・高知市立神田小学校)

後 援：高知県、高知市、高知市教育委員会

協 力：社会福祉法人高知市社会福祉協議会、高知県交通株式会社

(平成25年10月23日開催・丸亀市立城辰小学校)

後 援：香川県、丸亀市、丸亀市教育委員会

協 力：社会福祉法人丸亀市社会福祉協議会、琴参バス株式会社

(平成25年10月30日開催・徳島市立上八万小学校)

共 催：徳島市交通局

後 援：徳島県、徳島市、徳島市教育委員会

協 力：社会福祉法人徳島市社会福祉協議会、社会福祉法人青香福祉会

徳島県立障害者交流プラザ・視聴覚障害者支援センター

ご協力ありがとうございました。心より御礼申し上げます。



みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。バリアフリーに関するものならなんでも結構です。四国運輸局消費者行政課まで、FAXまたはメールでお寄せください。

〒760-0064 香川県高松市朝日新町1-30

電話 087(825)1174

FAX 087(822)3412

Email: Shikoku-shohisha@skt.mlit.go.jp



国土交通省

四国運輸局ホームページもご覧ください

<http://wwwtb.skt.mlit.go.jp/shikoku/>

このニュースは交通バリアフリー関係の話題を中心にして、4県自治体のバリアフリー関係担当部署、公共交通事業者及び地域のNPOの方にお送りしています。このニュースの配信につきまして、配信先の追加、変更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メールの返信機能でご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。